

ニカラグア定期報告（2015年6月）

2015年7月
在ニカラグア日本大使館

【要旨】

〈内政・外交〉

内政では、2016年大統領選挙に向けた初の野党連合が誕生した。外交では、中米議会議員団が当国を訪問し、当地国会議員と中米地域の関心事項について議論した。一方、オルテガ大統領は、SICA首脳会合出席を直前でキャンセルし、ソロルサノ勸業・産業・通商大臣が代理出席した。

〈経済〉

13日、ワイルドHKND社顧問は記者会見を開き、運河計画の財政面での実現可能性、ルート沿い住民の移転等、運河の進捗について説明した。他方、同13日、地方都市では運河反対デモが行われ、主催者側発表によると、参加者は一万人以上に上った。その他、運河計画のプレゼンが引き続き世界各地で行われた。

【主な出来事】

1 内政・外交

（1）2016年大統領選挙に向けた初の野党連合結成

25日、野党グループは、2016年大統領選挙の自由・公正かつ透明性のある実現に向けて、民主主義連合（Unidad Democratica）の名の下、野党連合を結成する旨の文書に署名した。同連合は、市民行動党、保守党、第三革命運動、キリスト社会党、歴史的独立自由党の5グループで結成された。市民行動党と保守党の2党のみ政党資格を有するが、現状、いずれの政党も議席を有していない。同連合は、2016年大統領選挙に向け初めて結成された野党連合であり、今後の動向が注目される。

（2）SICA首脳会合におけるニカラグアのプレゼンス

26日、グアテマラにおいてSICA首脳会合が開催されたが、オルテガ大統領は同会合への出席を直前にキャンセルし、ニカラグアからは、ソロルサノ勸業・産業・通商大臣が代理出席した。ソロルサノ勸業・産業・通商大臣は、同首脳会合において、中米地域は競争力を強化するチャンスを持っている旨、また、治安問題は中米の主要課題の一つであるが、その解決には各国の特異性が考慮されるべきと述べた。

（3）中米議会議員団の当地国会訪問

29日、中米議会議員団は、ニカラグアを訪問し、当地国会議員と麻薬取引、移民問題、障害者、人身売買、人権問題等中米地域の関心事項について議論した。2012年、中米議会と当地国会は、中米統合の一環としてオープンスカイ計画の実現に向けた協定に署名しており、オケリ中米議会法務委員長は、中米地域内航空運賃の低下を見越したオープン

スカイ計画を維持するために、中米諸国の法的枠組みを調和させる必要がある旨述べた。

2 経済

(1) 両大洋間運河建設計画の進捗

13日、ワイルドHKND社顧問は、運河計画の財政面での実現可能性、ルート沿い住民の移転及び同計画の社会的受入れ状況等につき明確にするべく記者会見を開いた。同顧問によると、まず、ファイナンス面については、Wang Jing・HKND社社長が直接ハンドリングしており、同社長のみが情報提供し得る、財政面での実現可能性調査は公表されていないものの、McKinsey社により実施されており、財政調査はプロジェクトの進捗に従い変わりうるテーマを扱うため、初年度に発表するつもりはない、また、デザインの決定なしに予算を確定させることは出来ず、最終デザインが出来上がるのは、2016年後半の見込みであると発言した。さらに、同顧問は、土地接收プロセスについては、調査によると、カリブ海側ではわずか約300世帯が移転するのみであり、独立機関が実施したアンケートによると、運河計画に対して一定以上の国民からの支持があると述べた。また、カリブ海側に位置するインディオマイス生態系保護区について、同顧問は、森林伐採による被害を受けている同保護区は運河建設により再緑地化される、また、サン・ミゲリート湿地帯に影響しないようルート変更されたことにより、更なる掘削作業を要し、約7億ドルのコスト増となる旨述べた。

(2) 運河建設反対デモの実施

13日、当国中央部に位置するフィガルパ県において両大洋間運河建設反対デモ行進が実施された。同デモ行進は、運河ルート上の住民を中心に全国から参加者が集結し、主催者側の発表では、1万人以上の規模で行われた。同市の路上にはオルテガ大統領に対する「裏切り者」の文字が並び、デモ行進では参加者等が「裏切り者」と叫び、与党FSLN党旗を燃やした。同デモ行進は通算47回目であり、全国レベルのデモとしては2度目となる。デモには地方住民の他、野党関係者、人権団体、NGO、国内外の記者等が参加した。フィガルパ住民の生活用水は運河通過予定ルート上にあるニカラグア湖を水源としており、同デモ活動のモットーの一つは同湖の保護であった。

(3) ロンドンにおける運河計画プロモーション

15日、オキスト大統領秘書官はロンドンで開催された、ラ米19カ国が参加した投資家フォーラムに出席し、運河計画につきプレゼンを行った。同運河計画はフォーラムで紹介された、ハイライトとなるプロジェクトの一つとなった。同秘書官は、両大洋間運河計画について詳細説明を行い、同計画への投資可能性及び利益について述べるとともに、同運河建設は低コストの海上ルートを提供することになると説明した。同フォーラムでは、運河計画に加え、ニカラグアの観光及び再生可能エネルギーのプロモーションも行われた。

<主要経済指標>

	2015 年			2014 年	2013 年
	6 月	5 月	4 月		
インフレ率（前年同月比）	3.8%	5.2%	5.7%	6.1%	8.3%
貿易収支(百万ドル)	未発表	△196.0	△181.2	△2,818.5	△2,792.3
輸出 FOB(百万ドル)	未発表	223.0	226.1	2,634.5	2,400.7
輸入 FOB(百万ドル)	未発表	418.9	407.3	5,452.9	5,193.0
海外送金（百万ドル）	未発表	104.9	94.4	1,135.8	1,077.7
外貨準備高(百万ドル)	未発表	2,447.1	2,375.6	2,276.2	1,993.0

（出典：ニカラグア中央銀行）